



神奈川ズバル株式会社



RA SURTEES



AUTOBACS SUPER GT Round4 FUJI SPEEDWAY 450Km RACE





神奈川パール株式会社



<公式練習 / 6位>

日差しが強い日々が続く中、この2日間は太陽が出ている時間も少なく、想定より遥かに路面温度が低い週末となりました。また今回の富士戦で自身GT100戦目を迎えました。感謝の気持ちを込めて、SUBARUファンシートの500名の皆さんに100戦記念ということで、リストバンドと手書きのポストカードを作り、皆さんにプレゼント企画をしました。多くの方が手に付けて応援してくれているので、僕自身も力が入ります。練習走行では、2セットのタイヤを確認。それぞれの特性を確認し、セットを煮詰めて井口選手と交代をしていきます。ロングを確認していき、決勝の戦力を考えた上で予選はソフトタイヤを選択。決勝は、路面にラバーが乗り、路面温度も今日より上がると想定し、新スペックのハードタイヤを使用していこうと考えました。





神奈川県 株式会社



<公式予選 / 2位>

Q1は、井口選手が担当します。Q1を5番手で通過。

ここからGT500も走り、路面状況は大きく変化していくので、その計算も視野にいれ、井口選手から聞いた現状のマシンバランスに加えてアジャストしていきます。

いつもより少し多めに変更して、自分が担当するQ2に挑みます。

路面温度も低いので、念入りにタイヤに熱を入れるため2周ウォームアップを入れて

いきます。渾身のアタックをするも現状の力を出し切りましたが、0.017秒足りず2番手。

マシンの手応えも良かったのですが、少し足りませんでした。ただこの差を埋めていけるように、自分の力で取り返せるように今後努力を続けたいと思います。





神奈川ズバル株式会社



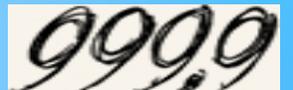
< 決勝 / 1位 >

決勝前に20分のフリー走行があり、ここで自分は決勝に向けてのハードタイヤの皮むきを2セット行っていきます。計測を1周。アウトラップと1周目のタイムを他車との比較を確認し、井口選手と交代。井口選手は今日のメインで履くハードタイヤのバランスを確認していきます。決勝でトップスピードを狙ってエアロ変更を行っていきましたが、冬の湿度であれば大きく空力に影響が無いのですが、夏では良くない方向にバランスを崩してしまったので、エアロも戻して決勝へ。スタートを担当するのは自分(山内英輝)です。スタートでは、ポジションをキープし、序盤のタイヤの温まりの早さを武器に序盤に仕掛けたかったですが、想像よりAMGの加速が速く、全く付いていくことが出来ません。





神奈川スバル株式会社



27周目でピットに入り、井口選手と交代します。ポジションは2台に抜かれてしまい、ポジションは4番手。ただ1位を走るAMGがマシントラブルでリタイヤとなり、3位に繰り上がります。井口選手も順調に快走を続けて33周目でピットイン。自分と交代します。ピットアウト後ポジションは3番手。トップを走るAMG。2位はGTR。残り15周を過ぎたところで、トップのAMGがバーストのため戦線離脱。ここでGTRとの一騎打ちになります。何度も最終コーナーで抜いては、ストレートで抜き返される流れを繰り返しましたが、やっと残り6周で前に出ることができ、トップでチェッカーを受けることができました。特別な100戦目でのメモリアルレースで優勝を飾ることができて本当に嬉しく思います。残り4戦。ここから更に速さ、強さを引き出せるように集中して後半に挑みたいと思います。引続き、ご声援の方よろしくお願い致します。

